



学校だより

千里行って千里帰る

がっこうちょう いしかわ ひでこ
学校長 石川 秀子

新しい年を迎え、寒さと共に年明けのわくわく感を感じます。年末から太平洋側は晴天が続き、自宅近くから真白な雪をまとった富士山がくっきりと見える日が続きました。日本海側や東北方面では雪が降り続き、大変な思いをされている方々も多いと思います。新しい年を迎え吹く風は冷たく強いものですが、風を受け凧が天高く舞い上がるように勢いよく過ごせるように、マスクの下の笑顔を増やしていきましょう。新年が皆様にとりまして良き年でありますよう心からお祈り申し上げます。今年もよろしくお願いたします。

2022年は寅年です。「虎は千里行って、千里還る」という言葉があるそうです。虎は一日に千里の道を進み、また千里の道に戻ることができるが、勢いが盛んなことや、子をおもう親の深い情愛を示す例えとして使われるということです。立野の子どもたちは興味関心の幅が広く、より良いものを求める力は、遠くどのようなところへでも突き進むような熱量を感じます。子どもたちと共にのびやかに活動ができる寅年でありたいと願います。同時に、新型コロナウイルス感染症への警戒は続きます。年始からまた感染者の増加が懸念される状況です。のびやかで活発な学習活動を模索しつつ、ひとたび安全が懸念される時にはきっぱりと、活動を見直し安全対策をとる迅速さを併せ持ちながらこの1年を過ごしていきたいと思ひます。

先月はお忙しい中また足元も悪く、各学級への御参観ありがとうございました。それぞれの子どもたちの学ぶ姿や学校での様子を感じていただけたことと思ひます。身近な、大切に思う人に見守られることがそれぞれの張り合いや頑張りにつながっていることを、改めて子どもたちから教えられました。また今月21日（金）には拡大授業研究会を予定しております。日頃から理科・生活科の学習活動を通して「ともにかかわり合い、自分づくりを進める子どもの育成」に取り組んでいる実践を参観者を少数に絞り公開します。子どもたちの中に、夢中になって取り組む熱意や、自然に浸りじっくり観察する姿、問題を追及する真剣さなど、友達や先生とかかわりあいながら学ぶ力が育ってきています。感染症流行の心配は続きますが、対策をしっかりとりながら学習活動を進めていきます。